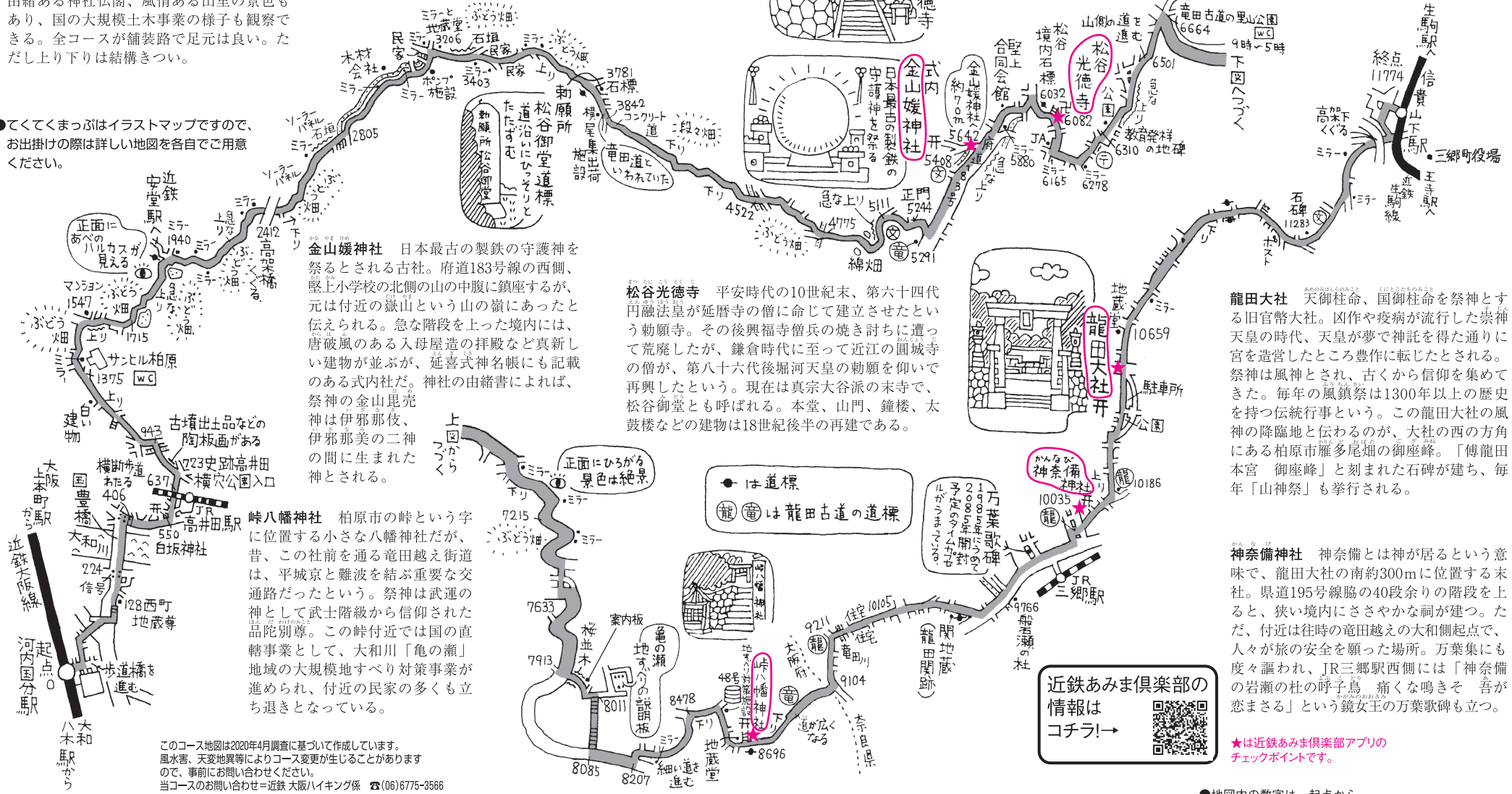


コースのあらまし 河内国分駅から大和川を渡って北上し、東へ。ところどころで往時の竜田越え奈良街道を辿りながら、信貴山下駅に至る。柏原市域では名産のブドウ畑が、また峠を越える辺りからは奈良盆地の景観が目を楽ませしてくれる。沿道には由緒ある神社仏閣、風情ある山里の景色もあり、国の大規模土木事業の様子も観察できる。全コースが舗装路で足元は良い。ただし上り下りは結構きつい。

- 近鉄大阪上本町駅から河内国分駅まで約20分(急行利用)
- 近鉄京都駅から河内国分駅まで約1時間25分(特急利用 大和八木駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から河内国分駅まで約2時間30分(特急利用 大和八木駅のりかえ)

●てくてくまつぷはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。



金山媛神社 日本最古の製鉄の守護神を祭るとされる古社。府道183号線の西側、堅上小学校の北側の山の中腹に鎮座するが、元は付近の嶽山という山の嶺にあってと伝えられる。急な階段を上った境内には、唐破風のある入母屋造の拝殿など真新しい建物が並ぶが、延喜式神名帳にも記載のある式内社だ。神社の由緒書によれば、祭神の金山毘売神は伊邪那伎、伊邪那美の二神の間に生まれた神とされる。

松谷光徳寺 平安時代の10世紀末、第六十四代円融法皇が延暦寺の僧に命じて建立させたという勅願寺。その後興福寺僧兵の焼き討ちに遭って荒廃したが、鎌倉時代に至って近江の圓城寺の僧が、第八十六代後堀河天皇の勅願を仰いで再興したという。現在は真宗大谷派の末寺で、松谷御堂とも呼ばれる。本堂、山門、鐘楼、太鼓楼などの建物は18世紀後半の再建である。

龍田大社 天御柱命、国御柱命を祭神とする旧官幣大社。凶作や疫病が流行した崇神天皇の時代、天皇が夢で神託を得た通りに宮を造営したところ豊作に転じたとされる。祭神は風神とされ、古くから信仰を集めてきた。毎年の風鎮祭は1300年以上の歴史を持つ伝統行事という。この龍田大社の風神の降臨地と伝わるのが、大社の西の方角にある柏原市雁多尾畑の御座峰。「傳龍田本宮 御座峰」と刻まれた石碑が建ち、毎年「山神祭」も挙行される。

峠八幡神社 柏原市の峠という字に位置する小さな八幡神社だが、昔、この社前を通る竜田越え街道は、平城京と難波を結ぶ重要な交通路だったという。祭神は武運の神として武士階級から信仰された品陀別尊。この峠付近では国の直轄事業として、大和川「亀の瀬」地域の大規模地すべり対策事業が進められ、付近の民家の多くも立ち退きとなっている。

神奈備神社 神奈備とは神が居るという意味で、龍田大社の南約300mに位置する末社。県道195号線脇の40段余りの階段を上ると、狭い境内にささやかな祠が建つ。ただ、付近は往時の竜田越えの大和側起点で、人々が旅の安全を願った場所。万葉集にも度々謳われ、JR三郷駅西側には「神奈備の岩瀬の杜の呼子鳥 痛くな鳴きそ 吾が恋まさる」という鏡女王の万葉歌碑も立つ。

このコース地図は2020年4月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせ=近鉄大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3566

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ!→

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

企画・発行=近鉄日本鉄道(株) 制作・印刷=(株)アド近鉄 イラストマップ=宮野耕治 ※無断転写禁ず。

●約12キロ〔河内国分駅～金山媛神社～松谷光徳寺～峠八幡神社～神奈備神社～龍田大社～信貴山下駅〕

河内から大和へ 竜田古道コース

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう



ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。